



# 子宮卵管造影検査について

## 目的

卵管の疎通性、子宮内の状態を調べる検査です。

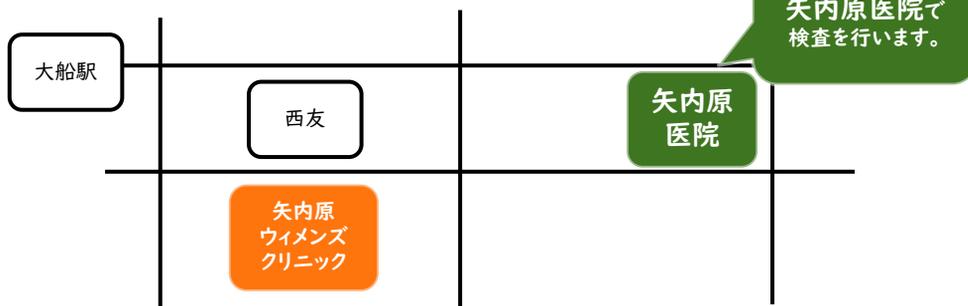
## 時期

月経終了直後から排卵前まで(月経7~10日目)

- 月経中(出血があるとき)は検査できません。
- 検査日の1ヶ月以内に造影剤を使用した検査を受けた方は、検査できません。

## 場所

検査は矢内原医院で行います。



## 予約

完全予約制です。

予約は月経開始5日以内に矢内原ウィメンズクリニックに来院していただき、医師と確認しながらお取りします。

予め、以下の検査日時から予定の確認をお願いします。

日時 : 月~土曜日(月曜日は午前中のみ)

午前 9:15、10:15、11:15 午後 14:15、15:15、16:15

所要時間 : 30分~1時間程度(来院~会計まで1時間~1時間半程度)

- 予約日時の変更、検査当日のキャンセルについて

予約日時の変更は、矢内原ウィメンズクリニック(0467-50-0112)へ

検査当日のキャンセルは、矢内原医院(0467-44-1188)へご連絡ください。

予約日時の変更や検査当日にキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡ください。

## 持ち物

保険証、昼用ナプキン1枚、クリニックからの紹介状、矢内原医院に受診歴のある方は、矢内原医院の診察券をお持ちください。

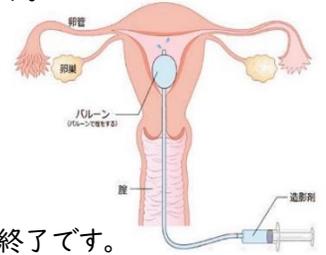
検査時、下着をはずしてお部屋を移動しますので、長めでゆったりとしたスカートで来院してください。

## 注意点

- 午前中の検査は朝食、午後の検査は昼食を摂らずに来院してください。  
水分は少量であれば摂取していただいても問題ありません。
- 検査をスムーズに行うため、検査1時間前から尿を溜めて来院してください。
- お子様連れ、ご夫婦での来院はできません。

## 方法

- ① 膣から子宮の入り口に細いチューブ(カテーテル)を挿入します。
- ② カテーテルから造影剤を注入します。
- ③ 経過を追って撮影します。



造影剤がどこまで流れ込むかで診断をします。

卵管に問題がなければ、お腹の中に造影剤が流れ出て、検査は終了です。

卵管検査は“痛い”というイメージが定着していますが、検査自体が痛いわけではありません。

卵管の通りが悪い場合に痛みを伴うことがあり、検査過程で痛みが増強する時は検査を中止します。

## 副作用 合併症

卵管造影検査に用いるのはイソビストという水溶性の造影剤です。

親水性が高い造影剤で97%は尿や膣から排出され、残りは体内に吸収された後に速やかに排泄されます。

この造影剤の承認時及び使用成績調査での調査症例3548例中206例(5.8%)に、臨床検査値異常を含む副作用が認められています。

主な副作用は、造影剤注入中の腹痛109件(3.1%)、注入後の腹痛56件(1.6%)、嘔気28件(0.8%)、発熱22件(0.6%)、発疹15件(0.4%)などでした。

造影剤によるショック、アレルギーも可能性として起こり得ますが、事前に検査することはできません。発症した場合には適切に対処いたします。

以下の方は禁忌になります。

- ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往がある方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方
- 骨盤内に急性炎症疾患のある方

## 費用

15,000円程度

- 子宮が大きく、造影剤の量が通常以上必要な場合は24,000円程かかる場合もあります。
- 保険適応ではありますが、カテーテル等の一部保険適応外も含まれます。
- 土曜日午後は時間外加算がかかります。

ご不明な点がございましたら、  
医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団守巧会 矢内原ウィメンズクリニック